

Konica Minolta Day

150
YEARS



コニカミノルタの サステナビリティ経営

2023年12月12日

代表取締役社長 兼 CEO 大幸 利充

Giving Shape to Ideas



© KONICA MINOLTA





時代とともに変化する「みたい」に応え、価値を創出



働きがい向上および
企業活性化



健康で質の高い
生活の実現



社会における
安全・安心確保



気候変動への
対応



有限な資源の
有効利用

マテリアリティの追求を支える無形資産

多様な人財

技術の融合

顧客関係

等身大の経営

不確実な環境下でも達成可能な計画を実行し、自信と信頼を回復

高収益企業への回帰

事業収益力の強化

事業の
選択・集中

強化事業への
資源再配分

オフィス事業の
収益堅守

収益基盤強化のために
構造改革を実行

コストの圧縮

財務基盤強化・
キャッシュ重視

事業管理体制の強化

事業のパフォーマンス
明確化

選択と集中の加速

1 経営管理体制の整備

執行体制の強化

- 各種会議の議論活性化（FY23～）
- 少人数の執行体制へのシフト、権限委譲と責任の明確化（FY23～24）
社長は将来の戦略検討・決定に注力（FY23～）

投資評価方法の見直し

- 投資評価ルールの改定（投資判断、存続・撤退検討プロセスの厳格化）

リスクの早期見極めと対応

- リスク対応力の向上とリスク情報開示の強化
- バランスシートをより意識した経営の推進

2 選択と集中の加速

- 非重点事業の取り組み：光学コンポーネント事業におけるラックスビジョン社との戦略的業務提携
- 方向転換事業の方向性明確化

財務指標

ROE

5%以上

総資産回転率

1.0回転

事業貢献利益率

5%以上

非財務指標

従業員

エンゲージメントスコア*

7.7

自社製品ライフサイクルの
CO₂排出量

61%削減
(2005年比)

顧客・取引先の
CO₂削減貢献量

80万トン以上

2009年にエコビジョン2050を策定し、早期から取り組み開始

*Workday 社の調査基盤を採用。グローバル従業員意識調査（0～10段階で回答）における「エンゲージメント」についての設問の回答平均点

蓄積された営業実績をデータサイエンスで分析し
有力な見込み顧客を見極めてアプローチを効率化



**新規顧客開拓の強化や
既存顧客へのソリューションの追加提案・契約継続に貢献**

生産現場の困りごとを起点に課題を分析・解決するプロセスを確立



現場課題の
深堀

データサイエンスの
問題に変換

データ分析による
課題解決

DX成功の“型”を開発し標準化

活用事例：高機能現像ローラー

課題 高機能部品の良品率が安定しない

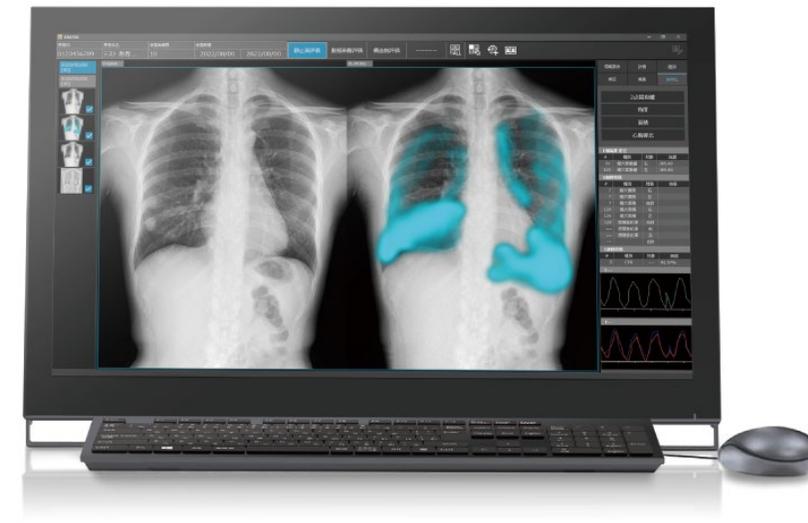
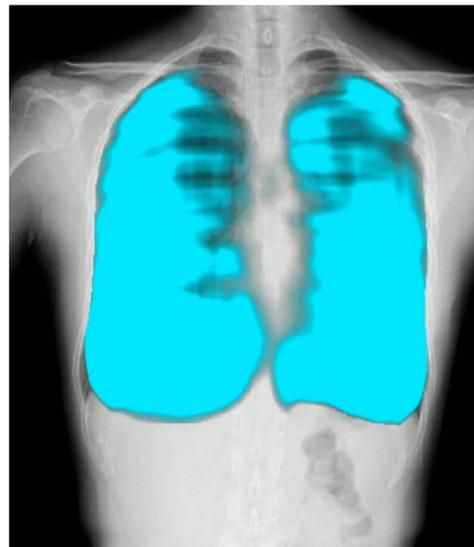
データをリアルタイムで学習し
良品率を最大化する製造条件を最適化計算



製造条件のリアルタイム最適化により
良品率が大きく改善

X線動画解析ワークステーション「KINOSIS」 — 医療現場との共創 —

コニカミノルタの独自技術「X線動態解析」で
肺の動きの可視化・定量化を実現



医療現場の課題に向き合い、
医師の意見を取り入れながら開発・改良を推進



2023年度 グッドデザイン賞受賞

審査員コメント

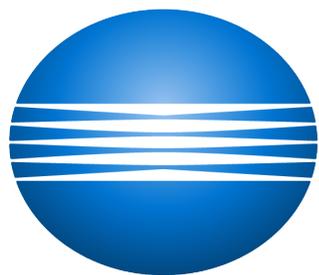
世界で初めて、生体の動きを可視化するX線動画解析システムである。
とくに本システムは、約15年もの長い時間をかけ、医療現場と真摯に共創・研究した結果生まれてきたものであり、医療分野におけるあらたなスタンダードをデザインするとはこういうことなのだという、お手本としたい試みである。頭が下がる思いであり、敬意を抱くシステムであり、まさにグッドデザインにふさわしい。今後のさらなる社会実装を強く期待したい。

インナーコミュニケーション強化の取り組み



コミュニケーションを活性化し、さらなる企業価値向上へ





KONICA MINOLTA

150

YEARS